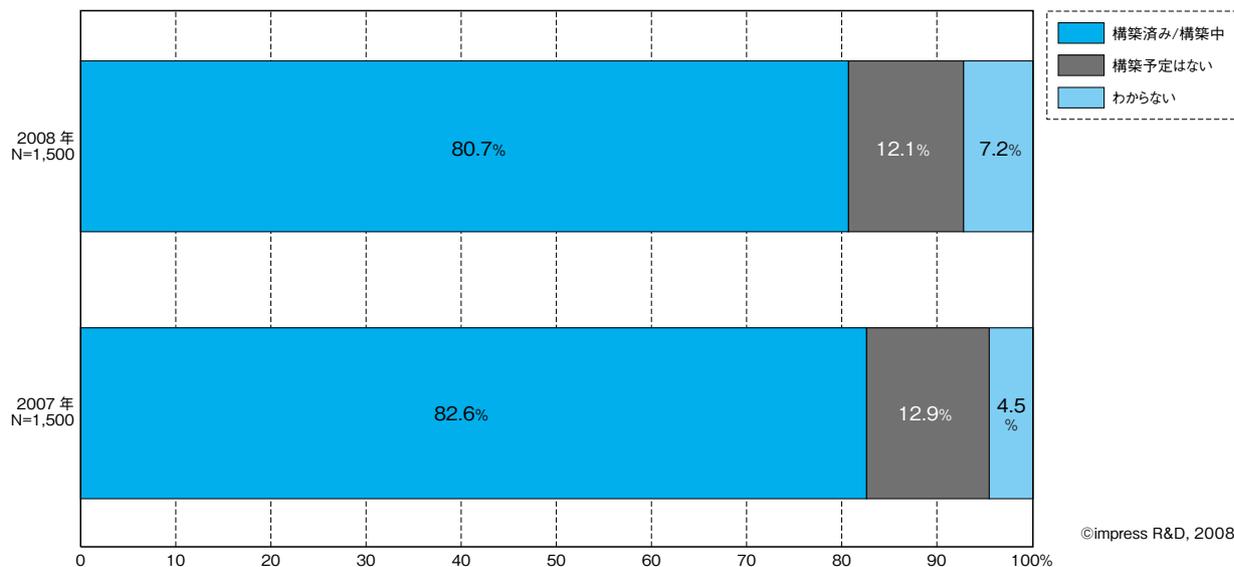


LAN

■ 企業内のLAN構築率は80.7%

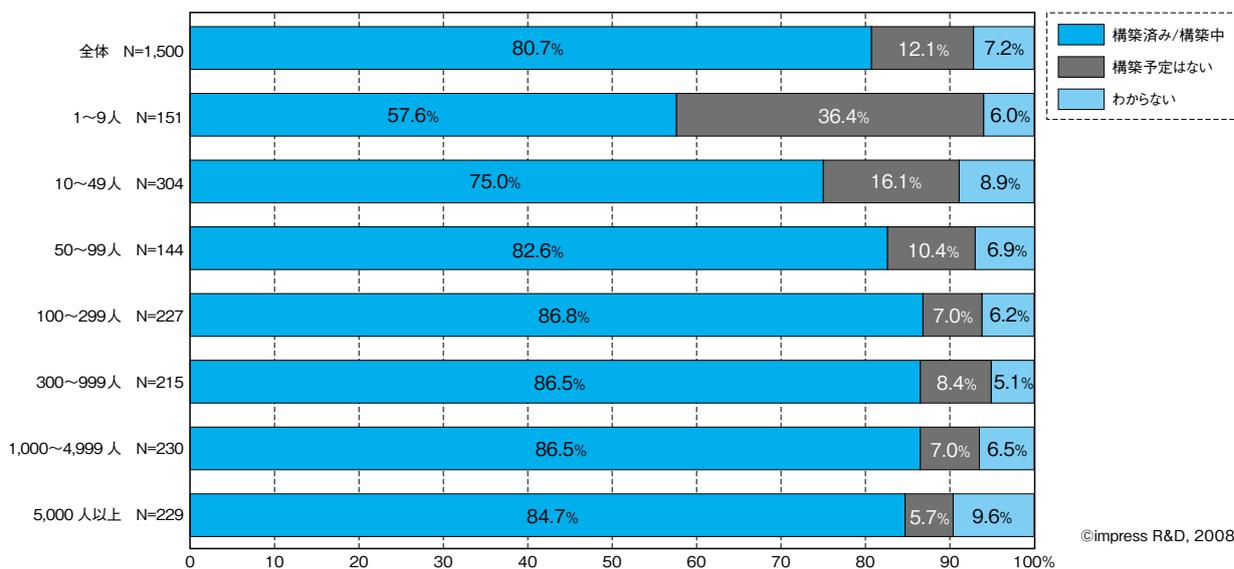
資料7-5-2 LANの構築状況[2007年-2008年]



企業内のLAN構築率をみると、「構築済み/構築中」は80.7%、「構築予定はない」が12.1%であり、昨年からほとんど変化はみられない。

■ 小規模な企業で低いLAN構築率

資料7-5-3 LANの構築状況[従業員規模別]

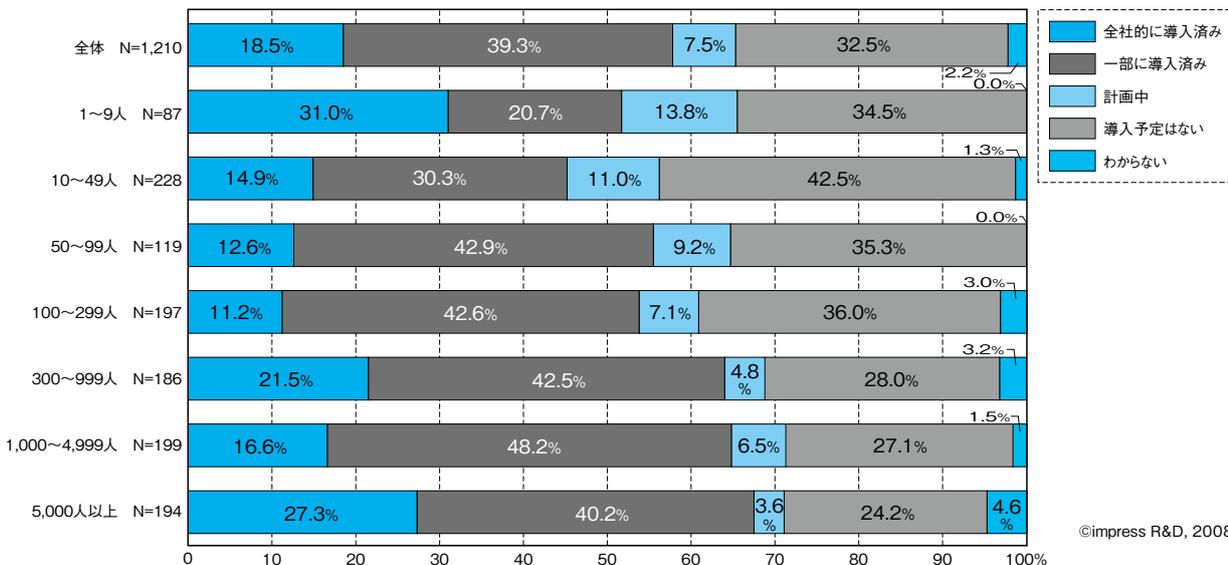


企業内のLANの構築有無を従業員規模別にみると、「構築済み/構築中」の比率は1~9人の企業で57.6%、10~49人の企業で75.0%と低く、50人以上の企業では8~9割弱がLANを構築している。

LAN

■ 無線LANの導入率は57.8%

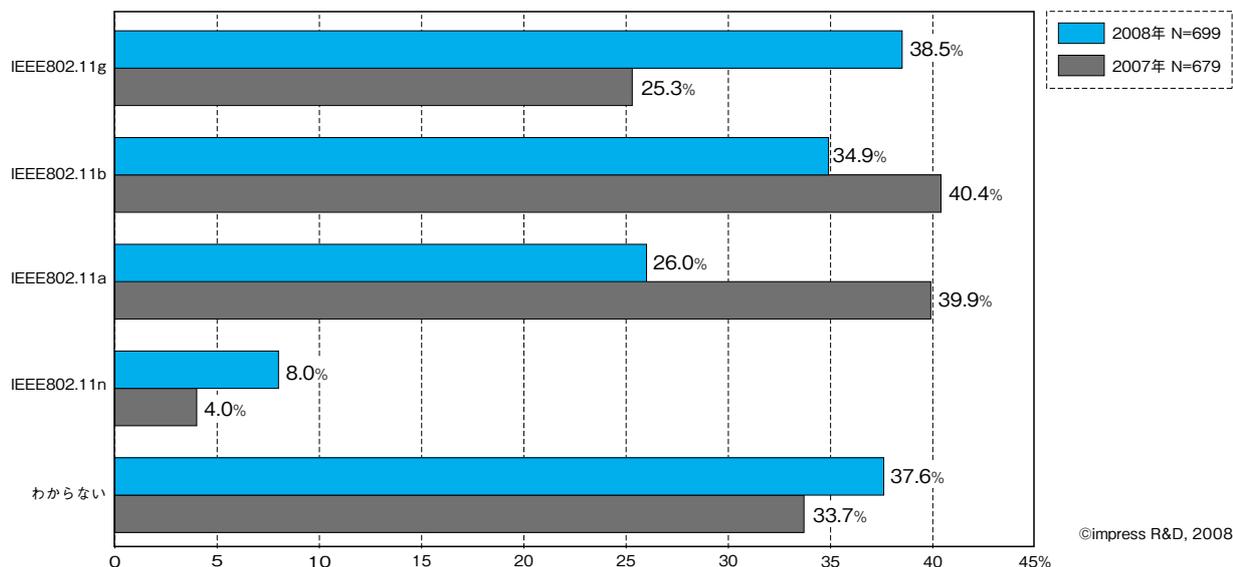
資料7-5-4 LAN構築企業における無線LANの導入状況[従業員規模別]



LAN構築企業における無線LANの導入率は、全社と一部を合わせて57.8%となっている。従業員規模別にみた場合、大企業では7割近い導入率となっており、大規模な企業ほど高くなる傾向がややみられる。また、昨年と比較すると、導入率は3ポイント増加している。

■ 導入している無線LANの規格は「IEEE802.11g」が4割弱

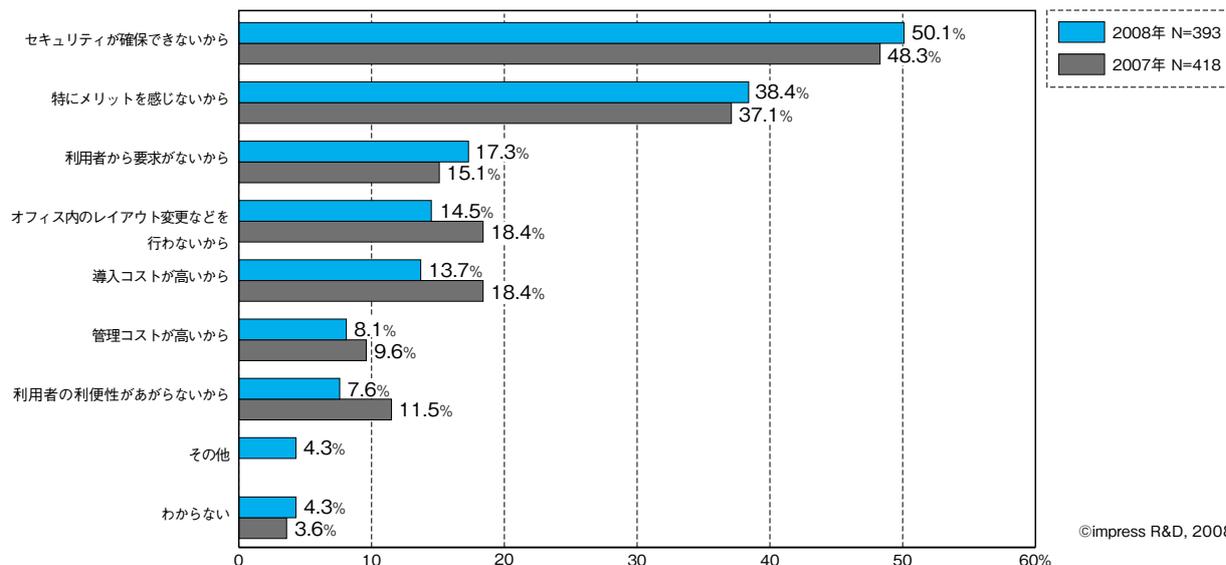
資料7-5-5 導入している無線LANの規格(複数回答) [2007年-2008年]



無線LAN導入企業が導入している無線LANの規格では、「IEEE802.11g」が38.5%と最も高く、次いで「IEEE802.11b」が34.9%が続いている。対応製品が提供され始めている「IEEE802.11n」（正確にはIEEE802.11n Draft 2.0）の利用率が、昨年より4ポイント増加し、8.0%となっている。

■無線LANを導入しないのはセキュリティの問題が半数

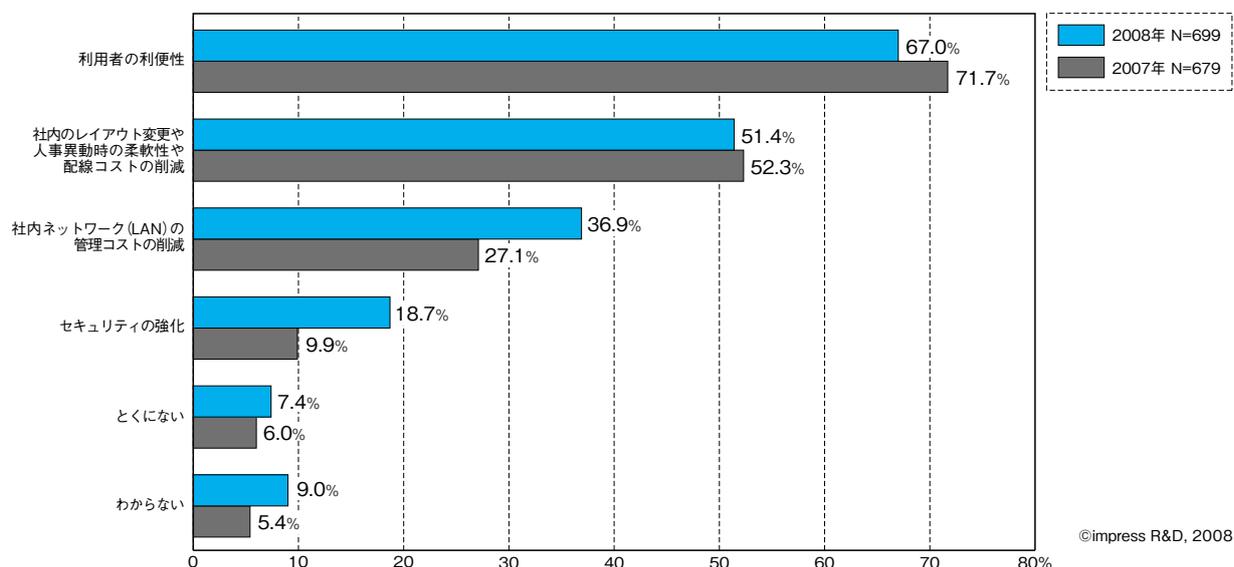
資料7-5-6 無線LANを導入しない理由(複数回答) [2007年-2008年]



無線LANを導入しない理由をみると、「セキュリティが確保できないから」が50.1%で最も高く、「特にメリットを感じないから」が38.4%で続いている。昨年と比較しても大きな変動はみられない。なお、無線LANは電波を盗聴される危険があるため、WEPやWPA、WPA2などによるセキュリティ対策が必要である。

■無線LAN導入で期待していた効果は、利用者の利便性

資料7-5-7 無線LAN導入時に期待していた効果(複数回答) [2007年-2008年]



無線LAN導入企業が導入時に期待していた効果は、「利用者の利便性」が67.0%で最も高く、「社内のレイアウト変更や人事異動時の柔軟性や配線コストの削減」が51.4%、「社内ネットワーク(LAN)の管理コストの削減」が36.9%で続いている。昨年の調査と比較しても順位の変動はみられない。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp